



小泉市政2期8年の足跡

健幸都市こもろ（小諸版ウエルネスシティ）による市政運営

25位 812 市区中

住みよさランキング 2023

東洋経済新報社が行う
公的データによる
ランキング

5位 289 人

県内転入者超過自治体 ランキング2023

長野県が公表した
2023年の人口動態
調査結果

23億 2107万
円余

任期中のふるさと納税 寄付額

2016年4月～2023年
12月末現在のふるさと
納税寄付額

小泉としひろ後援会報

VOL.10<2024年2月号>

小諸ぶらんど通信

編集・発行 小泉としひろ後援会事務局 〒384-0808 小諸市御影新町 2529-1 TEL0267-23-8788

01

子育て・教育

心豊かで自立した
人が育つまち

19年の8月診療分から
【領物給付方式】
子どもの福祉医療費の給付方式が変わりました
病院等の窓口で500円を
支払うことで
医療を受けることが
できます。

- 高校生までの福祉医療費の窓口無料化
- ファミリーサポートセンター、病児病後児保育を開始
- 南城森の保育園を開園
- 子ども家庭総合支援拠点を設置
- 小中学校のエアコン、ICT等教育環境の整備
- 学校再編計画を策定
- 高地トレ推進協議会設置、アスリート交流事業を実施
- 音楽のまち・こもろ事業を実施

02

環境

豊かな自然と環境を
未来につなぐまち

- 脱炭素先行地域に選定
- 小諸市太陽光発電施設条例を施行
- 小諸市動植物保護に関する条例を施行
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費
財源確保のためのクラウドファンディング



03

健康・福祉

すべての人のいのちが
輝くまち

- 「小諸モデル」によるワクチン接種予約・ワクチンバス
- 小諸駅のバリアフリー化
- こもろ健幸マイレージ事業
- アピアランスケア補助制度
- 母子健康包括支援センターによる継続的な支援
- 不妊治療の保険適用に対応した新補助制度
- 高齢者を支える地域ネットワークを構築
- フレイル予防に関する各種事業を実施
- 終活支援事業の実施
- 市民活動促進事業による支援
- 手話言語条例、犯罪被害者等支援条例制定予定（3月議会上程）



- コロナ禍にもかかわらず30店舗以上の新規出店
- 民間の資金とノウハウによる古い建物のリノベーションの推進と集客力ある事業者誘致
- 個性的な企業誘致に成功
例) ホクト、小諸蒸留所、HABAなど
- 民間の活力（資金・人材・ノウハウ）企業版の活用
例) 交通社会実験、観光振興
- 小諸ブランドの推進
例) ワイン振興、トップセールス、米食味、浅間水蜜桃など
- シティプロモーション・情報発信
- 女性が活躍できる職場づくりの推進
- 動物園の再整備（第1期完了、第2期工事中）
- 令和5年の人口動態で転入超過289人（社会増）と長野県77市町村中5位

04

産業・交流

稼ぐ力をもった
元気なまち



05

生活基盤整備

安心安全で
暮らしやすいまち

- 複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」の整備
- こもろ愛のりくんの運行拡大
- 官民共創による「まちたねプロジェクト」
- 各種団体との災害協定の締結
- 実践型の災害対策本部初動訓練を採用
- 耐震強度不足のため小諸消防署を新築
- 自主防災ファイルの配布、オクレンジャーによる災害時連絡体制の整備



06

協働・行政経営

市民協働で支える
健全な行政経営

- 新たな人事評価制度による人材育成に取り組むなど、組織全体の改革を推進
- 財政の健全性確保のため、徹底した歳出抑制に継続的に取り組み、基本計画の財政目標を達成
- ふるさと納税寄付額を8年間に合計23.21億円余とし自主財源の確保に努めた
- 就任当初、係長以上の職員に占める女性の割合19.8%→令和5年度29.2%とし9.4ポイント増加
- 企画課内にDX推進係を設置し、業務の効率化を推進
- 佐久広域連合、3市町共同事業、千曲川ワインバレーなど広域連携の強化推進



未来へつなぐ まち・ひと・しごと

健幸都市こもろ（小諸版ウエルネスシティ）第2章

主な最重点政策

マニフェストの詳細は、「こもろ未来プロジェクト2024」をご覧ください

01 自然増への挑戦

子ども・子育て支援による明るい未来（まち）



- ① 若者が幸せに暮らせるまち
- ② 子育てが楽しいまち
- ③ 女性・子どもを尊重し大切にすまち
- ④ 男性の家事育児参画
- ⑤ 時代の変化への対応（継続性）

- ・一人ひとりが自分らしい生き方や働き方を選択できるまち
- ・時代と共に変化する若者の考え方やニーズに目を向けて、自然と対話が生まれるまち
- ・新しいチャレンジを応援するまち
- ・移住者も住みやすいまち（UIJターンファミリー層への支援）
- ・地域でできる子どもとの関わりや支援を考え、子どもが自立するまでを一緒に支える地域づくり
- ・親が安心して子育てができる環境づくり
- ・子ども自身が安心して過ごせるまち
- ・子育ての悩みや不安解消のために、専門的な支援だけでなく相談ネットワーク・横のつながりを意識した活動
- ・仕事と子育てを両立できる環境整備（育児休暇制度の拡充、保育園・幼稚園の拡充など）
- ・医療・福祉が充実したまち
- ・産後ケアの充実
- ・家庭内ジェンダーフリーの啓蒙活動
- ・潜在的なDV根絶（相談窓口・救済ネットワーク）
- ・子どもの育ちへの権利擁護（養育費未納問題の解決など）
- ・男性の家庭内での自立（料理・洗濯・掃除等自分のことは自分で行う）
- ・産前・産後の父親学級活動の充実
- ・父親同士の相談ネットワーク・横のつながりを意識した活動
- ・全世代参加の地域づくり
- ・時代と共に変わる考え方や、ニーズに対応できる行政
- ・継続性ある次世代を見据えた組織づくり

02 健康寿命を延伸

最後まで自分らしく幸せに生きる

- ・地域包括ケアシステムの推進による高齢者を支えるネットワークの拡充
- ・高齢者福祉センター「こもれび」を拠点とする介護予防事業の推進と各地区で行われる介護予防事業を支援
- ・フレイル（虚弱）の要因である低栄養、口腔機能や運動機能の低下リスクのある高齢者を対象に保健指導の充実
- ・特に女性の要介護認定率の向上を目指し、平均寿命・健康寿命を伸ばすことで医療費の抑制や重症化の抑制を図る



03 稼ぐ力をもったまち

豊かな暮らしを創出

- ・農業振興については、「KOMORO AGRISHIFT PROJECT」による小諸ブランドの強化と産地規模拡大への取り組みを推進
- ・農ライフについては移住施策との組み合わせで推進し農地利用促進と遊休農地の解消を図る
- ・インフラ面ではほ場整備地内等の農業用施設の老朽化に対し、単独予算も含め計画的な維持補修を進め、農道や水路などは防災減災対策を含めた補助事業を活用し推進
- ・新産業団地整備の着実な推進し、企業誘致とビジネスの集積に取り組む
- ・商工会議所と連携し企業創業を支援し、経済とまちづくりの担い手を育成



04 脱炭素まちづくり

まちの持続性と活気を高める

- ・地球温暖化防止、ゼロカーボンの実現に向けては「小諸市ゼロカーボン戦略推進本部」を中心に基本協定を締結した企業や団体と連携協力し脱炭素先行地域づくり事業を実施
- ・新たに策定する「第2次ごみ処理基本計画」に基づき、ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区での分別指導や、市民への啓発を行い食品ロス削減やごみの分別・再資源化を進め、ごみの排出量削減を図る

